

仙台市 天文台だより

〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ岡公園1-1
 TEL 022-222-6694 FAX 022-216-4464
 E-mail voice@astro.sendai-c.ed.jp
 URL <http://www.astro.sendai-c.ed.jp>

天文台INFORMATION 7~8月

七夕特別企画 星と能の夕べ

『銀河』

8月7日(火) 19:00~20:30

出演 山中遼晶氏



星と音楽の夕べ~CDコンサート~

『空の彼方へ~そよぞよのかたちへ』

7月20日(金) 19:00~20:00

7月21日(土) 16:00~17:00

担当 高橋 敬子

『私の好きな曲を集めて』

8月6日(月) 19:00~20:00

8月8日(水) 19:00~20:00

担当 小石川 正弘

『思い出を星空にこめて』

8月17日(金) 19:00~20:00

8月18日(土) 16:00~17:00

担当 今野 暁

星を見る会 19:30~21:00

7月6日(金) ... 木星と夏の星を見よう

7月20日(金) ... 月と木星を見よう

8月3日(金) ... 木星と夏の星雲・星団を見よう

8月6日(月)~8月8日(水) ... 七夕の星を見よう

8月17日(金) ... 夏の星めぐり



特別観望会

『皆既月食を見よう』

8月28日(火) 18:30~21:00

バカ号による星を見る会

7月27日(金)・8月24日(金)

勾当台公園

7月24日(火)・8月10日(金)

泉ヶ岳大駐車場

現代天文学への招待

『CBM:最後の栄冠は誰の手に
~宇宙マイクロ波背景放射(CMB)~』

7月7日(土) 13:00~15:00

講師:東北大学理学部

准教授 服部 誠氏

天文の話

『夏休みの星空』

7月6日(金) 19:00~20:00



夏休みには
どんな星が
見えるのかな?

プラネくんをあそぼう! (幼児向け投影)

『ちきゅうをさがせ!』

7月8日(日)

8月12日(日)

各 ①10:30~11:15

②11:30~12:15



あいちん、ピカちん、タキ、ハカセ
にあいにきてね~!

星空メモ

- 下弦 7/ 8 8/ 6
- 新月 7/14 8/13
- 上弦 7/22 8/21
- 満月 7/30 8/28

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

☐ お休みの日

■ プラネタリウムだけお休みの日

プラネタリウムの話題 「銀河まついの夜」

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」は、天の川が舞台です。銀河鉄道は、北十字(白鳥座)を出発し、南十字へ向かいます。お話の中にはいろいろな星座や星が登場します。

賢治の宇宙は、決して、暗く、冷たく、淋しい所ではなく、暖かくて美しい所なのです。さあ、銀河鉄道が通った星の世界へ私達も出発しましょう!

そして、思い出してください
頭の上にはたくさんの星が光っていることを…。



投影日
6月30日(土)～7月6日(月)の
土日曜・祝日
7月21日(土)～8月26日(日)

ナレーション	渡辺祥子 ロジャー大葉 なべくらみほ
イラスト	小金澤文彦
音楽	高橋 泉 磯村 淳 佐藤 証

★アルビオ…織座の星
白鳥の口(β)の先に輝く。
望遠鏡では、オレンジと
ブルーの2つの星に分かれて
見える。

★石炭袋
暗黒星雲。巨大なガス雲
遠くの星の光が透き通っているので
ぼんやりと見えます。この中で星が
つくられて生まれる。

きゅめらまん Y☆Sのファイター 第2回～天の川の未来～



夏は天の川が一番きれいに見える季節です。夏の夜空にかかる天の川の正体は太陽系がある天の川銀河を内側から見た姿だということが分かっています。わねわねの銀河系と形がよく似ているといわれているアンドロメダ銀河(M31)は肉眼で見える銀河として有名ですが、現在、天の川銀河に急速に近づいていることが観測で分かっています。20億年後には最接近を迎え、その後お互いの周りを回りながら合体していくのではないかと考えられています。M31と天の川銀河がお互いの周りを回るようになると、夜空に見える天の川の形も大きく変わることでしょう。20億年後の夜空にはどのような天の川が見られるのでしょうか。そのころには、天女の羽衣のような天の川が夜空いっぱいに見えているかもしれません。

Since 1955 ~西公園から Since 2008 錦ヶ丘へ 『天文台メモリーズ⑩ 工作室は魔法の工場?』

W台長が天文台の工作室に入るとそこは魔法の工場に変わります。30年も前の引退した投影機…一見どうしようもないがラクタ…これらがイメージとアイデアと創作意欲と人の手で『世界に一つしかないプロジェクター』として蘇るのです。その『世界に一つしかないプロジェクター』も埃をかぶっていきば『ただのラクタ』。先日、何年も眠っていた『横幕引き投影機(別名:春はあけぼの投影機)』と『回転投影機』が見事に復活しました! プラネタリウム番組「銀河まついの夜」には、このように、W台長製作の自作投影機が全部で4つ登場します。ミラーボール・レーザーキラキラ・アルビオの回転 星めぐりの歌 このシーンをお見逃しなく! (hiro)

新天文台だより…新天文台建設も大きな遅れもなく順調に進んでいます。外まわりの足場も取れはじめ、外装仕上げも確認できる様になっていました。そして、内装が急ピッチで進められています。

てれすこへろ
天文台前の公園の木の伐採が始まりました。そこにあるのが当たり前だった景色がなくなるのはさびしいですね。(Kei)